

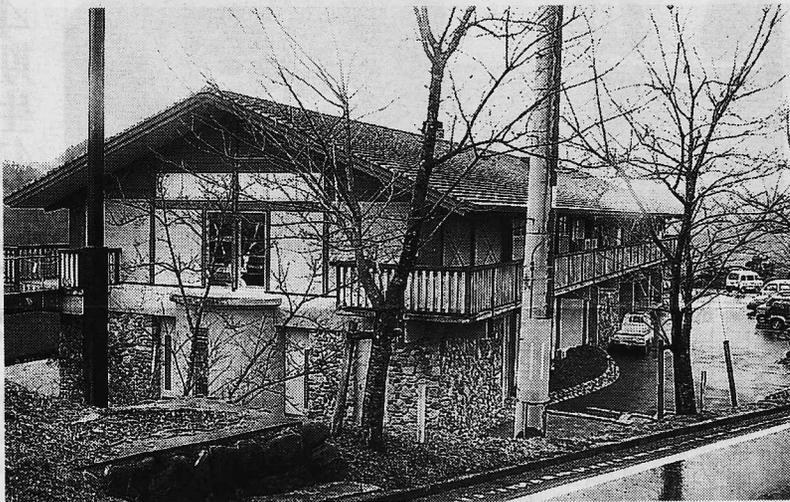
旭町からアジアへ

「民話の村」リニューアル

ネット発信や研究所

称)」にリニューアルする。一部事業費(3300万円)を盛り込んだ2001年度一般会計当初予算を可決しており、03年度の完成を目指している。

民話をテーマに町おこしに取り組んでいる旭町は、同町西川上の「旭町民話の村」を、民話を通じた日本とアジア各国の文化体験の場とする「アジア民話村(仮



アジア電子民話館にリニューアルされる民話館

AMDAが協力 03年度完成目標

国際医療ボランティア団体AMDA(本部・岡山市檀津)の協力で企画。計画では、AMDAのネットワークを生かしアジア各地に残る民話を収集。インターネットでの情報発信やイベント、研究など通じて、観

光面での魅力アップや国際交流の推進、町民の生涯学習充実を図る。

拠点施設として、現在の体験宿泊施設・民話館を「アジア電子民話館」へと改築。民話の収集や研究、ホームページ作成など行うアジア民話研究所(仮称)▽大型モニターによる民話のバーチャル(仮想)体験コーナー▽日本やアジアの民話資料室など設ける。

「民話の村」内にある民家(鉄骨平屋、床面積約百二十平方メートル)を改築し、「アジア迎賓館」(仮称)としてアジア各国の人を迎えるための宿泊施設にする。

新年度は、民家買収やアジア民話調査など行う。最終的な総事業費は五千万

一億円。将来的には、町同町は「将来的には、町民によるホームページ作りや民話をはじめとする各国

の文化遺産のデジタル化、アジアの人を招く国際イベントなど行いたい」としている。